



大北地区 賛助会報

No130号

平成27年10月20日
(公財)長野県長寿社会開発センター
大北地区賛助会 発行
大町保健福祉事務所 福祉課
0261(23)6507

8月末 賛助会員数 大北地区 154名・県全体 3416名

2015信州ねんりんピックが千曲市で開催されました。

開催日：9月4日（金）～6日（日）高齢者作品展

9月5日（土）文化・芸術交流会

今年は直接参加型に内容を一新

10:00 オープニング

○姨捨物語（解説・和太鼓）

千曲市に伝わる姨捨物語を地元の冠着太鼓と朗読でふりかえります。

10:20～11:00 式典

○あいさつ・表彰式

高齢者福祉や社会参加活動に功績のあった方々に社会福祉表彰（知事表彰）及び長野県長寿社会開発センター表彰が授与されます。

11:10～11:40 演劇 第一部

○オバステ物語その後(I)

時は流れて現代。新しいオバステ物語が始まります。

プログラム

11:40～14:00 活動見本市

○ヒト・モノ・コト巡り

さまざまな活動を展開するみなさんの展示や販売が会場を埋め尽くします。温泉街のまち回りもどうぞ。

14:00～14:30 演劇 第二部

○オバステ物語その後(II)

シニアの多彩な様子を映像でご紹介します。
ふれあい長野ビデオクラブ/夢ひろば/なかちゃん

14:30～15:30 意見交換会

○人生百歳時代でやりたいこと

会場全体で楽しく意見交換しましょう。

15:30～16:00 エンディング

○コンサート・富くじ

・屋代高校キターマンドリン班の演奏と景品の抽選会があります。

2015 信州ねんりんピック

主催 2015 信州ねんりんピック実行委員会

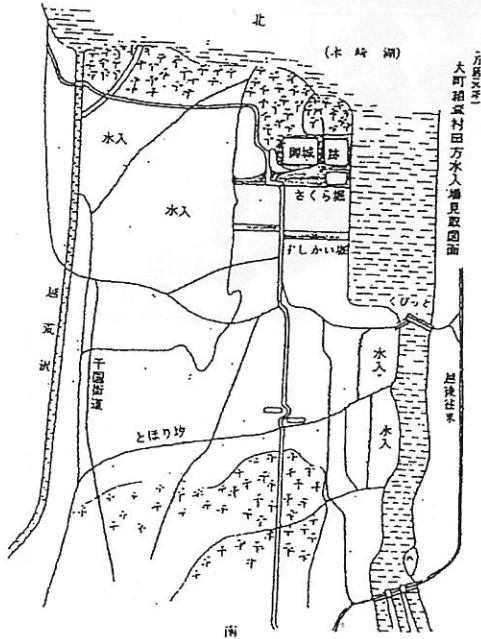


2015年信州ねりんピックに参加して

参加者二十一名で大町合同庁舎を午前8:00に出発しました。今年の会場は、千曲市です。会場の上山田温泉へ午前9:40分頃到着しました。まず最初に総合観光会館で開催されている長野県高齢者作品展を見学しました。日本画、洋画、彫刻、手芸、書道、写真等の部門に分けて展示してありました。どの部門の作品を見ても素人とは思えない力作揃いで、長年その道に努力されていたことがわかる作品が多く、唯々感心、感激をして見学させてもらいました。写真の部で本年、大町市文化祭に出品しようと用意していましたが、桁違いの立派な力作の前には出品の意欲がなくなるほどの作品揃いでした。次に会場を移して上山田文化会館で芸術交流大会の式典に出席しました。今回の大会の特徴は、大会参加者も参加できる参加型でありました。いくつかのブースがあり気軽に声をかけたり、かけられたり、近親感がありました。昼食を2階の会議室でたべました。少しせまかった様におもいます。昼休みに会館の前でボランティアの活動をしている方々の人力車に二人で乗り、温泉街一回りと言う生まれて初めての経験をさせてもらいました。乗り心地も割合よく明治、大正時代は民百姓の下々は乗れない人力車に乗り有名人になった気持ちでした。午後は人生百歳時代でやりたいことと題して皆さんから記入していただきその後、補足説明という事で本人に思いを語っていただきました。色々な意見があり、大変興味深くお聞きしました。最後に八代高校のギターマンドリンクラブの演奏と大抽選会がありました。マンドリンの爽やかな音色で演奏を聞き、最後に「花は咲く」を全員で合唱しました。酒が好きな私には、上山田温泉の町が、日帰りなのかと恨めしそうに見送られている様な気がしてなりませんでした。私の勝手な思いすごでしょうか。



第2回会員講座が開催されました



資料 万延元年(1860)
森村水入絵図(複製)

万延元年5月、大雨によって森村一帯が浸水したときの状況を示す図面。古い時代の森城の様子や農具川の取水、木崎湖(海の口池)への古い越荒沢(森堰)の流入状況などがよくわかる。

8月21日(金)大町市総合福祉センターにて

講師・・・大町市教育長

荒井 今朝一氏

演題・・・「豪族仁科一族についてV」

《会員講座に参加して》

大町グループ 伊藤 甚式

今年度の第2回会員講座が開催されました。シリーズで行っている演題「豪族仁科一族についてパートV」講師は大町市教育長・荒井今朝一氏です。今回は、木崎湖湖畔にある森城跡を中心にその復元経過又それを維持してきた事についての講話でした。森城のある所は、以前は森村として存在し、(現在は森区)万延元年大雨により森村一帯が浸水したとき、仁科氏が中心となり現在の木崎湖からの農具川、取水口等を整備したとの事、仁科氏の領主としての力の大きさにただ感銘するばかりであります。又仁科氏は、小笠原氏に敵対し、大文字一揆を模索し小笠原氏を滅ぼしました。

今も昔も同じ経過をたどっている様に思う。その時の指導者により住民の生活が変わる可能性があります。仁科氏は聡明な指導者であったと思います。現在の安曇野地域の基を作った事に敬意を表すと同時に現状を見つめたいと思います。違う角度で湖や川から歴史の紐を解くととても考え深い講座でありました。

大北地区賛助会

— 広報誌・手渡し運動 —

<信州りらく・賛助会報 手渡し運動>

この取り組みをして3年目になります。

目に見える取り組みを更に高め様と言う事で名前入りのジャンパーを作り、配布時に着用して配布する事にしました。

又このジャンパーは、賛助会の行事にも着用する事にしました。

賛助会のPRに繋がる事に期待し、又新規加入者の獲得に貢献できればと思っております。



“話が出来てうれしいぜ！おめえも元気か？”